

1. 京急蒲田駅西口地区の位置

「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」
の対象区域

「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」とは、地域住民、事業者、行政が一体となってまちづくりを進めていくため、蒲田地区の特徴を捉え、課題を整理した上で、蒲田地区の将来像を描くとともに、その実現に向けた方針と具体的な取組を示したもの。(約80ha) 平成22年に策定し、令和4年に改定。



「京急蒲田駅西口地区」

「京急蒲田駅西口地区」は、町会、商店街、飲食店街等の代表によって構成される地元まちづくり団体「京急蒲田西口地区まちづくり研究会」が主体となって、一体的なまちづくりに取り組んでいる地区。(約3.4ha)

京急蒲田駅西口地区のまちづくりの状況について

2. 京急蒲田駅西口地区のまちづくりの経緯



3. 北地区(センターエリア)での取組について

(1) 上位計画における位置付け

- 大田区都市計画マスタープラン
- 蒲田駅周辺地区グランドデザイン

「災害に強いまちづくり」「公共空間を活用したにぎわいづくり」
 「回遊性に配慮した歩行者空間の創出」「水辺空間を生かした良好な景観創出」
 「呑川の親水空間整備」「まちの活性化」「商店街の持続的発展」



(2) 現状の課題と本地区での取組

現状の課題		本地区での取組	期待される効果
項目	内容		
①防災	細街路が多く、老朽化した建築物や小規模な建築物の建替えが進まない	<ul style="list-style-type: none"> ・大街区化に伴う敷地の一体的利用と公共施設の再編による<u>土地の高度利用</u> 	地域一帯で <u>防災性の向上・防災機能の強化</u>
②土地利用	土地利用の細分化や十分な公共空間がないことなどにより都市機能が低下している	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の共同化(不燃化・耐震化) ・<u>無電柱化</u> ・<u>防災設備や防災備蓄倉庫の整備</u> 	建物の共同化や新たな <u>公共空間の創出</u> などによる <u>都市機能の更新</u>
③都市環境	国内外からの来街者を迎え入れる玄関口にふさわしい都市空間が形成されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>一時滞留空間の確保</u> ・地区外周の<u>道路整備</u> ・商店街や周辺市街地との連続性に配慮した 	<u>水と緑が感じられる景観形成</u> など来街者を迎え入れる都市空間の形成
④にぎわい及び回遊性	歩行者空間や溜まることのできる空間が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>広場空間・歩行者空間の創出</u> ・呑川を生かした<u>緑化空間</u>の形成 ・商店街と連携した<u>にぎわいの形成</u> 	<u>にぎわいの創出、回遊性の向上</u>

(3) 今後について

上位計画の達成に向けて、引き続きセンターエリアの共同化支援を行っていく。